

## 令和6年度実施状況報告

## 広報委員会

取り組み項目	実施状況
<p>1. <b>HPそよかぜ、そよかぜ印刷版の編集・発刊</b></p> <p>編集～発行の基本的なスタンスと活動サイクル</p> <p>6年度に特に留意したポイント</p> <p>ホームページと印刷版での編集方針</p>	<p>センターが設定した月1回の委員会会議の他に、月2回の編集作業、次月以降に掲載する内容、取材体制から文字の校正、写真の取舍そして実際の紙面作りを決める編集会議まで年間36回の活動時間を持ち委員の意志統一を計った。その間突発的な出来事の有無や新たなニュースソースを常に探しながら、毎月「そよかぜ」を会員の手元に届けている。</p> <p>早い時期から熱中症への警戒記事の掲載、自転車に関する道路交通法の改正もいち早く会員の注意を喚起するため、被害者側ばかりでなく、加害者になる状況も多くあるため、その備えや対策まで載せた。</p> <p>HPそよかぜでは「情報の視覚化」を進め、記事に音と動きを加え発信。さらに印刷版では紙幅の制限をなくし、従来4～5倍の情報量を増やした。事務局編集・発行の就業情報や印刷同封物と併せて、印刷物だけでも情報格差が著しく生じないよう配慮した。</p>
<p>2. <b>そよかぜ企画記事の開発と継続</b></p> <p>継続企画と新規企画の開発</p>	<p>職業グループを紹介するシリーズ企画「職群班の腕利き」は、2022年10月の手芸班から植木班、パソコン班、除草班2024年3月に配布班、9月にリビングサポート班を公開、本年搬送班の取材が進行中で3月には公開。動画既公開の7本分と併せて、画像・ナレーションを作成・再編集し職群班への入班向けの動画公開を目指す</p> <p>また、2023年3月から開始した、会員からの寄稿シリーズ「私の就業体験」は2025年3月までの連続掲載で27回を数え、会員の就業の中から感じた苦労や楽しみを執筆してもらった。さらに、2024年6月からは、生活の身近な話題を深掘した「生活ほっとインフォメーション」を毎号掲載。7月からは「今さら聞けない素朴な疑問」と題し、配分金とは？理事・監事は何をしているの？就業前研修に配分金が出ないのは？そして職場リーダーに報酬がないのはなぜかを、広報だけでなく事務局の協力も得て、わかりやすく載せてきた。今後も継続予定。</p> <p>その他4月の「多摩川・浅川クリーン作戦」を広報委員全員で分担して多くの会員の掃除ぶりを写真紹介して1ページにまとめた。10月のシルバーいきいきいきいき祭りも公式な記事とは別に、祭りの前や裏側を写真に撮り「祭り百景」として2ページで公開した。</p>

3.	対外および SC 内への発信、対外広報活動の推進 他	
	SC 内への発信と対外広報活動	<p>会員交流を広報の守備範囲で促進するため、2023年3月より会員寄稿による「私の就業体験」を会員の言葉で毎月一人の執筆で展開した。会員の意見や考えを発表する場が少ない現状だが紙面で発表することによって交流の一助となりえると考え。</p> <p>対外広報の点では、10月にまちづくり市民フェアに出展。2,500人の来場があり、ブースでのパネル展示、来場者へのセンターの紹介を、数的には多くはなかったが、PRできた。11月には日野市産業まつりにリサイクル事務所が物品販売、広報委員会が市民への広報PRを展開した。</p>
	「広報ひの」有料広告での展開とSC紹介記事協力	<p>日野市発行の「広報ひの」の有料広告を年間3回出稿している。</p> <p>3月号にリサイクル事務所の掘り出し市のセール広告掲載、7月号には植木班と除草班の班員獲得(70歳までの男性を意識した)に特化した募集広告を掲載。10月号には60歳以上の市民に「もう一度輝け!」のメッセージを送る入会促進の広告を掲載。</p> <p>また、9月号では働く元気な高齢者を取り上げた企画に、当SCの会員(1人と2団体)を紹介、就業の様子が写真と共に掲載された。当シルバー人材センターを市民にアピールできた。</p>
	委員会活性化、他委員会との協働	<p>シルバーいきいき祭りでの本格的な動画を撮影し、祭りの記事とともに「そよかぜ」ホームページで公開。会員、実行委員会から概ね好評な感想をいただいた。その他委員全員で祭り前日・当日にわたり写真撮影をし、「そよかぜ」紙面展開、「祭り百景」として2ページ掲載した。</p> <p>他委員会との協働としては、</p> <p>後期地域班交流会活性化の一助として、「そよかぜダイジェスト版」を地域委員会との連動で作成。「そよかぜ」過去掲載の記事の中から地域班関連の記事と再確認して欲しいセンター主要記事を抜粋した。</p> <p>事業委員会とは、職業グループへの入班勧誘用の動画再編集、再収録に協力した。成果物になるのは令和7年度になるが、在籍会員研修、新入会員研修時に公開できるよう準備を進める。</p>